

かえる便り 29年度22号

平成29年10月2日

中秋の候、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

体操の内村選手は“出来るかできないかではなく、絶対に完璧に出来る”

状態にまで高めて大会に臨むそうです。 美しさや感動 といったものは、人により基準が違います。だから芸術的要素が強い競技においては、客観的な基準が必要になります。基準を完璧に身に付けるために“技の細部にこだわり”、“集中”した練習を主体的に行っているから、彼が超一流選手になっていると思いませんか？

“一” という字から何を想像されますか？ 優れたもの 専念する などの意味もあります。何かをする際、選択をしなければならないことが多々おきます。欲張るのではなく、“何が一番大事か”を常に考えていれば間違いは少ないと思います。“一に専念する”ことで結果的に“一石二鳥”を得ることがあります!!逆に、“二兎を追ったために、何も得られない”ことはよく起きますよ。 専一が大切!!



(雪渓とスキー 標高約 2500m)

豊臣秀吉が作った大阪城の天守は約 39m (現在の天守は 55m)、これは 10 階建てのビルに相当する高さです。重機がない時代に、僅か 1 年半で荘厳な天守を完成させていることに感動しませんか？ちなみに、浜田の警察署 (4 階建て) が約 1 年半で完成しています。日本一高いと言われる日御碕灯台の高さは 43m です。人力で短時間に完成させた昔の人の知恵や能力・意欲を見習いたいものです。

